

予 算 要 求 資 料

令和3年度3月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名【新】乳業工場機能向上推進事業費補助金(R4分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 酪農・飼料係 電話番号：058-272-1111(内2874)

E-mail：c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 76,000 千円 (現計予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	76,000	0	0	0	0	0	0	0	76,000
決定額	76,000	76,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県内には11の乳業工場があり、このうち8工場では学校給食牛乳を製造し、県内約570校、18万人の児童・生徒へ岐阜県産の牛乳を供給している。

この乳業工場のうち美濃酪農農業協同組合連合会(以下「美濃酪連」)は、岐阜県内で生産される生乳の半分以上(53%)となる約17,000tを処理する本県の基幹乳業工場であり、県内の他の乳業工場に対する生乳の需給調整を行う役割を担っている。

近年、新型コロナウイルスの影響により、学校給食用牛乳が停止する事態が発生した際に、美濃酪連が生乳の需給調整を行うことで、酪農家が生乳を廃棄するような被害の発生を最小限に抑えた実績があるが、現在の美濃酪連の冷蔵保管施設の規模では、今後、さらに大きな影響が出た場合、対応しきれない恐れがある。

また、製品出荷の時間の都合により、酪農家から生乳を収集する時間が深夜・早朝となっており、これに対応する酪農家の負担が大きい状況にある。

岐阜県の生乳の需給調整機能の維持や酪農家の労働環境改善のため、当該乳業工場の牛乳の冷蔵保管施設の拡大整備に対して支援することで、早急に本県の生乳の流通体制の強化を行う必要がある。

(2) 事業内容

岐阜県の基幹乳業工場としての生乳処理能力を向上し、県内の乳業工場に対する生乳の需給調整を確実にを行うため、当該乳業工場の冷蔵保管施設整備に要する経費の一部を補助する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担 1/4以内

(4) 類似事業の有無
無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	76,000	補助金額は整備事業費の1/4以内 【整備事業費】 冷蔵保管施設建築工事 97,380千円 冷蔵・冷凍設備工事 145,000千円 一次電源工事 49,600千円 構内舗装工事 15,400千円 <hr/> 合 計 307,380千円 うち、県補助金額 76,000千円 (1/4以内)
合計	76,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ぎふ農業・農村基本計画 第7(13)
- ・岐阜県酪農・肉用牛生産近代化計画 VIの1, 2

(2) 国・他県の状況

国：乳製品の輸出、乳製品(チーズ等)の製造、乳業工場の再編整備に限り支援事業あり。牛乳の製造については支援しない方針。
他県：直近5年間で、乳業工場整備等への支援は、14道県で実施している。

(3) 後年度の財政負担

無し

(4) 事業主体及びその妥当性

事業実施主体： 美濃酪農農業協同組合連合会

妥当性： 美濃酪連は県内酪農家の半数が所属している本県の基幹乳業工場であり、県内乳業工場に対する生乳の需給調整を行う重要な役割を担っている。本県の酪農振興の要として、必要不可欠な施設であり、県としては、生乳の流通体制の強化を支援する必要がある。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県乳業工場機能向上推進事業
補助事業者（団体）	乳業プラントを有する農業協同組合または農業協同組合連合会 （以下「農協連等」という） （理由） 県の酪農振興に資するため、生産者団体を支援する。
補助事業の概要	（目的） 将来にわたって牛乳・乳製品の安定供給を確保するため。 （内容） 県内の農協連等の乳業工場に牛乳・乳製品の製造に必要な施設・機材を導入する経費の一部を助成する。
補助率・補助単価等	定額・ 定率 ・その他（例：人件費相当額） （内容） 1/4以内 （理由） 平成29年度に実施した当該事業実績に準ずる。
補助効果	農協連である、美濃酪農農業協同組合連合会の生乳需給調整機能を強化することで、県内酪農家において、生乳の廃棄等の被害発生を防止する。
終期の設定	終期 令和4年度 （理由） 単年度の整備事業であるため

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

美濃酪農農業協同組合連合会において、岐阜県内の全ての生乳の需給調整を行うことで、各乳業者におけるリスクを軽減し、県内酪農家において、生乳の廃棄等の被害発生を防止する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度実績	R3年度目標	R4年度目標	終期目標 (R4)	達成率
	①牛乳・乳製品等製品の保管量	80,000L	—	—	160,000L	
②	/	/	/	/	/	/

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	/	/	/

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

令和 3 年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和 4 年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>新型コロナの影響により、学校給食用牛乳の需要が不安定な中、生乳の廃棄を防ぐために、岐阜県内の生乳の需給調整を行う施設を早急に整備する必要がある。</p>
<p>・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</small></p>	
(評価)	
<p>・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 本県における生乳の生産流通体制を維持するため、基幹乳業工場である美濃酪農農業協同組合連合会では、生乳の需給調整を継続して行う必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 冷蔵保管施設の整備により、生乳の需給調整機能の強化が図られることから、単年度事業とする。</p>
